



校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年3月14日

第40号

3つのKと3つのC

去る10日(月)の玉椿集会は今年度最後ということもあり、いつもよりは少ない7名分の発表でした。6年生はこれで最後の玉椿集会ですが、玉椿の3つのK：「助け合う子・よく考える子・元気でやりぬく子」を人として目指す姿の基本として、今後も大切にしてほしいです。また、これまで集会で行ってきたように、お互いのよいところ、頑張っているところを認め合い、それぞれの成長に生かそうとする姿勢を大切にしてほしいと思います。

玉椿集会の後は、これも毎月恒例の授賞集会でした。今回は市の年賀状展、県書初大会、「わたしのママ・パパ」の図画コンクール等の入賞者を表彰しました。校内のなわ跳び大会や計算大会では特にたくさん入賞者がいましたし、自主学習の「わくスタノート」7冊達成者は今回12名いました。

私はよく、皆に賞状を渡した後に「今日もたくさんの人を表彰することができてとても嬉しいです」と話してきました。今回の授賞集会でも改めて、「これからも、さまざまな場面で自分が得意なこと、ちょっとは苦手意識をもたずに頑張れそうなことを見つけて(チャンス: Chance)、思い切って挑戦してみる(チャレンジ: Challenge)、そうして新しい自分へと成長(チェンジ: Change)していきましょう」「変わっていくことは怖いことではありません。新しく変わっていく自分にワクワクしたいですね」と話しました。

卒業式を間近に控えて…

早いもので、卒業式が来週18日(火)に迫ってきました。本校では今週に入ってから全校での練習を始めました。本番の時間帯に合わせて毎日2限目に練習を行い、主に全校に関係のある「お別れの言葉」や歌、起立や礼のタイミングなどを確かめています。限られた時間ですが、回を重ねるごとにみるみる上手になってきている子供たちです。

★「よい式にしたい」という思いを一人一人の行動につなげていけたら…

卒業式はカリキュラム上、「特別活動」の中の「儀式的行事」とされています。「特別活動」は子供が自主的に取り組むことを通して、人間関係づくりの力や社会に参画する力、自己実現の力を育てることを目標としています。中でも卒業式では、厳粛で清新な気分を味わいながら、学校生活の節目としての気持ちを新たにすることを目指しています。

6年生はこれまで、各教科の学習のまとめや「大切にしたい言葉」や「将来の夢」を文章にまとめる学習、小学校生活を振り返るさまざまな活動を通して、卒業への心構えができてきました。1～5年生も「6年生を送る会」の取組や自分自身の成長を振り返る学習等を通して、6年生への感謝と卒業をお祝いしようとする気持ちが高まってきました。

こうした日頃の積み重ねを生かしつつ、全校の雰囲気をもさらに高めていきたいものです。

また、子供はまだまだ経験が少なく、意識だけでは本番に上手く臨めないものです。卒業式の場にふさわしいマナーや規律、気品のある行動の仕方等をあらかじめ練習して身に付けておくことで、本番当日も緊張しすぎに臨めます。

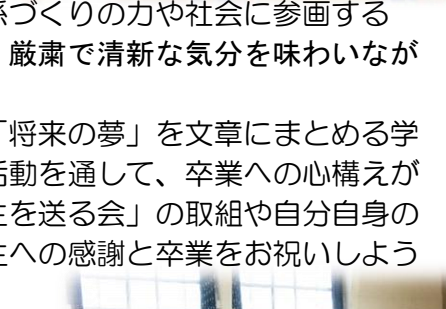
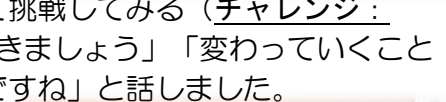
全体練習を担当する教務主任の澤田先生は「練習は本番のように、本番では練習のように」と子供たちに話し、具体的な練習を進めています。「よい式にしたい」という思いが一人一人のよい行動につながり、会場全体の素晴らしい空気を作り上げることができたら最高です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()



城石先生、これまでありがとうございました

12日(水)は城石律子先生の授業最終日でした。城石先生は今年度、「学力向上推進教員」として本校に勤務されました。他県での教職経験を生かし、外国語や社会科、家庭科等で3～6年生の授業を担当していただきました。

いつも念入りに授業の準備をし、抜群のコミュニケーションスキルを生かして熱心に仕事をしておられた姿が印象的です。また、校長杯計算大会では大人の方で高得点をたたき出し、子供たちにとっての「高い壁」の一人として存在感を示してくださいました。

城石先生は村椿小学校について「係の仕事、わくスタ、遊び等々、自分の得意なこと、好きなことに頑張る子が多かったなあと思います」「また機会があれば是非、村椿小学校に勤めたいです」と話しておられました。



シリーズ「教室におじゃまします」3月12日(水)5年国語科の巻

先週の4年生と同じく、5年生も学年末のこの時期、「話す・聞く」の学習に取り組んでいました。テーマは『子ども未来科』で何を「架空の教科」を想定し、どんなことを学びたいかをスピーチで提案します。より説得力の増す提案の仕方を考える学習です。

この日は発表会の2回目でしたが、授業の初めには教科書の動画資料を使ってポイントをもう一度確認しました。とある小学校の教室の授業の映像で、実際に提案発表をする人、それを聞く人の様子がよく分かります。また教科書には実際の発表原稿も載っていて、動画と照らし合わせることもできました。分かりやすい資料です。

次に、いよいよ後半の発表です。手を挙げた人から発表できます。この日は7人が発表しました。「感染症対策を学ぶ」「地球温暖化について学ぶ」「闇バイトをしないよう仕組みや対策について学ぶ」「食品ロスについて学ぶ」といった提案がありました。教科書と動画の例をよく参考にしています、

「皆さん、〇〇について知っていますか」
→(聞き手がうなずく)→「そうですよね」「このグラフを見てください。約～割の人が～と答えています。しかし実際には～」といった一連の話の流れが、どの子のももよくまとまっていた。

全員の発表が終わり、山本先生は、事実と意見の区別の仕方や説得力のある事実の集め方についてアドバイスをしつつ、「でも、発表の内容を覚えて最後まで話し切ることができていたのはすごいね」と子供たちのがんばりをたたえました。私も全く同感です!



<おまけのひとりごと>11日は東日本大震災から14年目の日。本校では2時46分に(1・2年生は下校後だったので3年生以上の学年で)黙祷を行いました。6限目の途中でしたが、放送に合わせて校内が1分間静まりかえりました。思えば2011年の3月11日は金曜日でした。その日の午前中に卒業式を済ませたばかりだった学校、3日後の卒業式に向けて会場準備をしていた学校、いろいろあったと聞いています。また、グラウンドに集まり何とか皆で避難できた学校、残念な結果となった学校、…。毎日を平穏無事に過ごすことができるのも「当たり前」ではないのでしょうか。様々なことに感謝の思いをもちつつ卒業式を迎えたいと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()